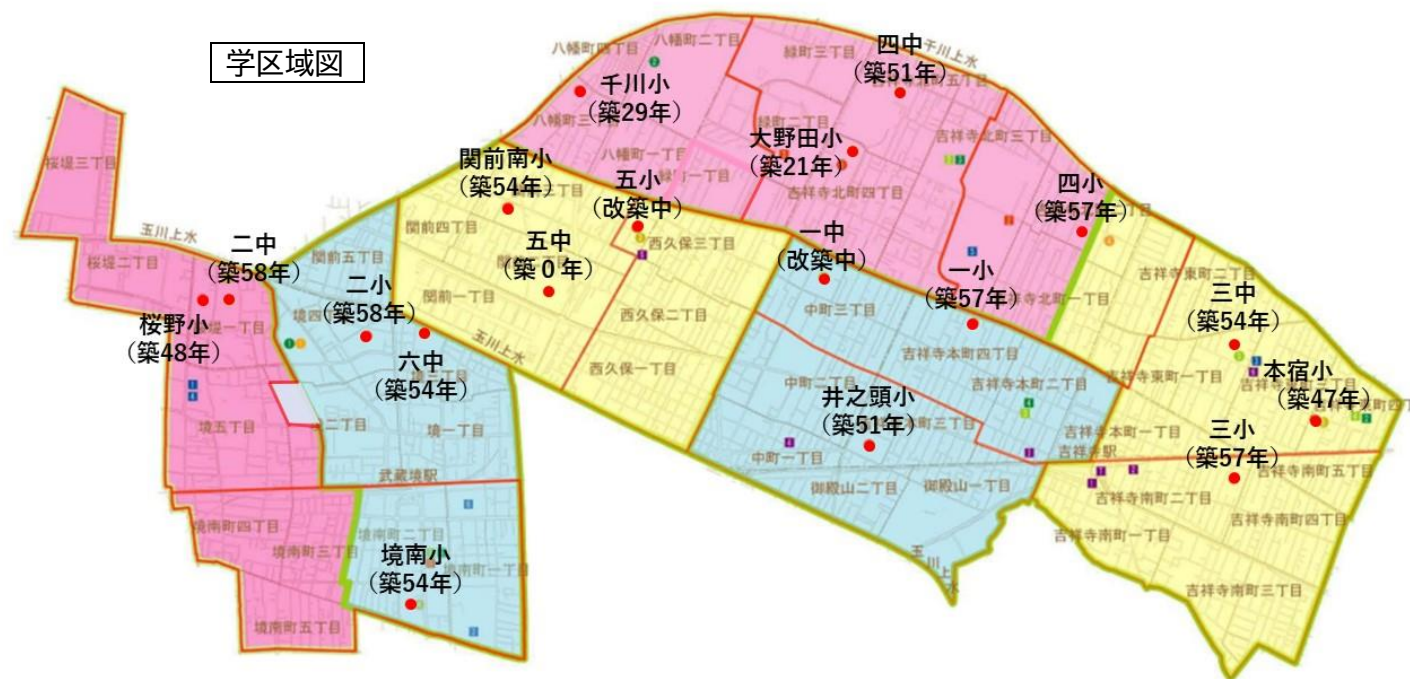


現在進行中！ 武蔵野市の学校建て替え事業

令和2年3月に策定した学校の建て替え計画(武蔵野市学校施設整備基本計画)に基づき、五中、一中、五小、井之頭小の4校の建て替え事業を進めています。令和7年4月時点の状況は下表のとおりです。

	① 設計	② 既存校舎解体工事	③ 新校舎建設工事	④ 新校舎利用
第五中学校				R7年3月～
第一中学校			実施中	
第五小学校		実施中		
井之頭小学校	実施中			

上記4校以外の学校の建て替え順序については、令和7年度から8年度にかけて、武蔵野市学校施設整備基本計画の改定を進める中で、検討していきます。



《市から情報発信中》 口コミ、情報拡散にご協力ください

武蔵野市教育委員会では、子どもたちの学びを第一に、それぞれの地域にとってどのような学校がよいのかを考えています。詳しい情報は、市ホームページから発信しています。情報を更新した際は、市のSNSでもお知らせします。ぜひ口コミやSNSで情報を広げてください。

今すぐアクセス！
ホームページはこちら→



発行: 令和7年4月
武蔵野市教育委員会 教育企画課 学校改築係
TEL: 0422-60-1972
FAX: 0422-51-9264
MAIL: SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

《武蔵野市教育委員会リーフレット》

みんなで考えよう！

武蔵野市の未来の学校づくり vol.2

資料 11
令和7年7月17日
第1回策定審議会資料

第五中学校 3月から「新しい時代の学び」に対応した新校舎での授業がスタート！

新校舎は、「校舎全体をゆるやかにつなぐ学びの空間」を目指し、「主体的・対話的で深い学びの活性化」「個別最適な学び・協働的な学び」のための連続した多様な空間で、生徒が主体的に学べるよう設計しています。

多様な学習方法に対応できる、可変性と柔軟性のある教育環境になるよう整備し、学習活動を支援する場として、校舎の中心に開放的なラーニング・コモンズ(学校図書館)を配置しています。さらに、普通教室の近くには授業中はグループ学習、休み時間は友達とのおしゃべりにも使える学年コモンズも配置しています。



YouTube で大ヒット公開中

生徒・先生・市職員が語る
五中新校舎ツアー動画
今すぐアクセス⇒



武蔵野市動画チャンネル 検索

武蔵野市の学校建て替え計画の改定に向けて

令和6年度 子ども、教職員、保護者、地域の方々と意見交換を開催しました。主なご意見を紹介します。

各地域でワークショップを開催(全6回)



参加者
計 115 名

対象:小中学校全18校

- 第1位 地域に開かれた学校 101件
第2位 安全・安心 65件
第3位 ゆったりとした空間・収納 57件
第4位 快適に過ごせる 45件
第5位 多様な人との交流(児童生徒同士) 35件

ご意見
654件



全中学校でスクールミーティングを開催(全6回)



参加者
計 34 名

対象:中学校全6校生徒会役員

全校生徒から意見をまとめてくれた学校もありました！

クラス数が多いと、色々な人と関われるため、多様な視点を持てる。

クラス数が多いと、友達との関係が悪くなったときにクラス替えで配慮しやすい。

クラス数が少ないと、学年ほとんどの人と人間関係が築ける。

休み時間に友達と集まってしゃべれるスペースがほしい。

部活動の種類が増えると広い体育館が必要になる。

放課後や土日に学校で勉強ができるように、自習スペースがほしい。

仮設校舎で友達と落ち着いて話せる場所が、トイレ、廊下の突き当たりくらいしかない。

中学校生活3年間の全期間仮設校舎に通うのは嫌だ。

友達と通学できれば、30分でも歩ける。



各校 PTA 会長とのワークショップを開催



参加者
計 23 名

対象:R6・7年度PTA会長

クラス数が多いと、人間関係で課題が生じたときにクラス替えで配慮しやすい。

クラス数が多いと、先生の数も増えるため、先生と合わない場合に配慮しやすい。

小中学校は先生の目が行き届く方がいいため、クラス数は少ない方がいい。

部活動は選択肢だけは多く用意して、選べるようにしてほしい。

学区を柔軟にして、学校を選べてもいいのではないか。

中学生は自転車通学もよいのではないか。



令和7～8年度 子ども、教職員、保護者、地域の方々と引き続き意見交換をしながら計画の改定を進めます。

小中学校長、小中学校PTA代表、地域団体代表、公募市民、学識経験者、行政職員によって構成される策定審議会を設置し、令和7年7月から計画の改定作業をスタートする予定です。

令和7年度は、子どもの学びを第一に、全市的な視点から「中学校の適正な数」や「未来における教育を見据えた校舎のあり方」について、子ども、教職員、保護者、地域の方々と意見交換をしながら検討を進めていきます。

みなさんのご意見が計画づくりのヒントになります。たくさんのご意見をお待ちしています。

